

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第48週[11月29日～12月5日]

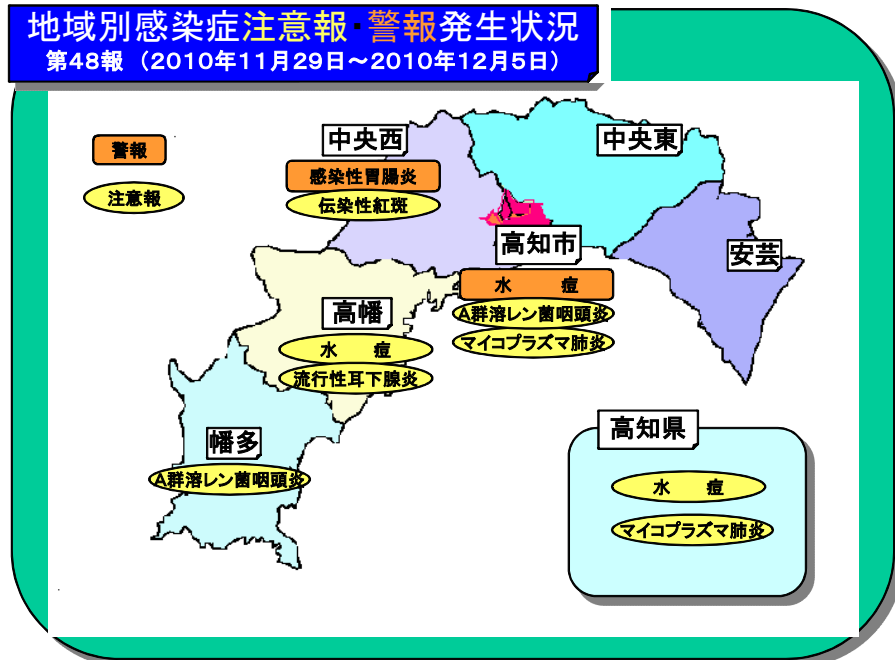
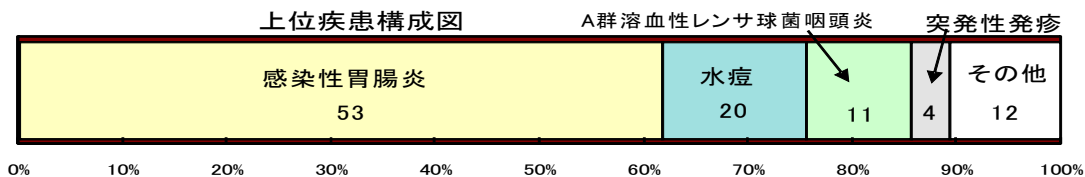
高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>

## 県内情報

### ○ 患者情報総評

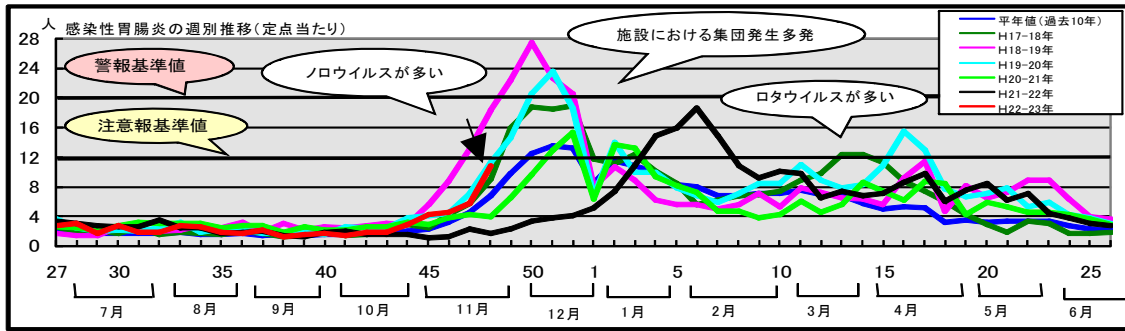
#### 注意報発令疾患：水痘、マイコプラズマ肺炎

- ・ 週初めは曇り空も多く気温も低めであったが、後半は晴の日が続いた。
- ・ 感染性胃腸炎（中央西：注意報→警報）は幡多でやや減少したが、その他の地域では約2～3倍の増加があり、総数でも注意報値に近づいている。なお、高知市は後少して注意報値に達する。
- ・ 水痘（高幡：警報→注意報，高知市：注意報→警報）は安芸，中央西，高幡，幡多で減少したが，高知市で増加し総数も少し増加した。
- ・ A群溶血レンサ球菌咽頭炎（高知市：注意報，幡多：注意報）は高知市と幡多で約2倍の増加あり、総数でも1.5倍増加した。



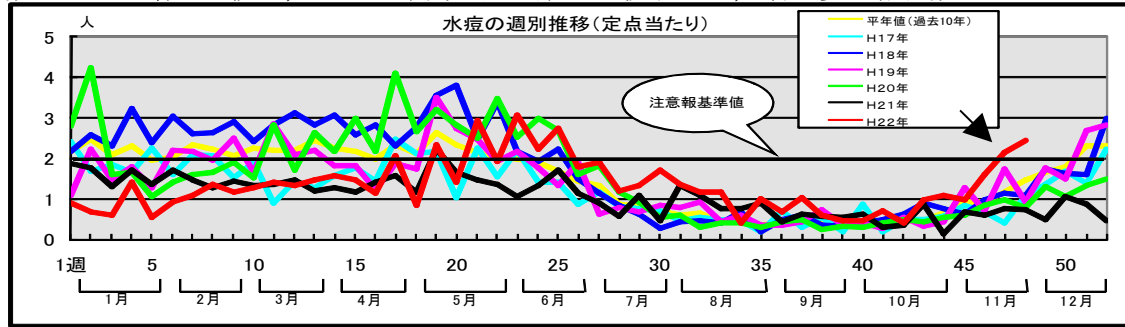
#### 感染性胃腸炎：今週10.83（注意報値：12.00 警報値：20.00）

総数は急激な増加が見られ，中央西では警報値を超し，総数でも注意報値に近づいている。また，搬入された検体からはNorovirus GII が7件検出された。感染の予防には，食事前や帰宅時の流水・石けんによる手洗いの励行が重要である。



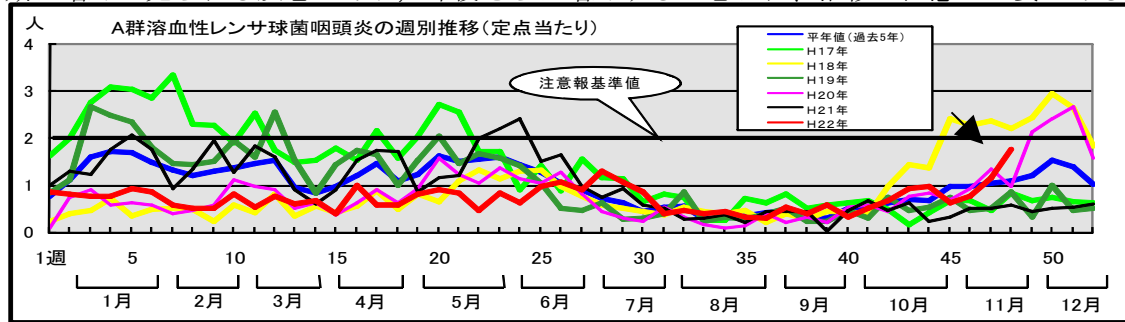
水痘：今週2.43（注意報値：2.00 警報値：4.00）

総数はさらに増加が続き、過去10年間の同時期と比較すると、最も多い報告数となっている。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：今週1.77（注意報値：2.00 警報値：4.00）

冬期に増加が見られる疾患であり、今後さらに増加すると思われる、推移に注意が必要である。



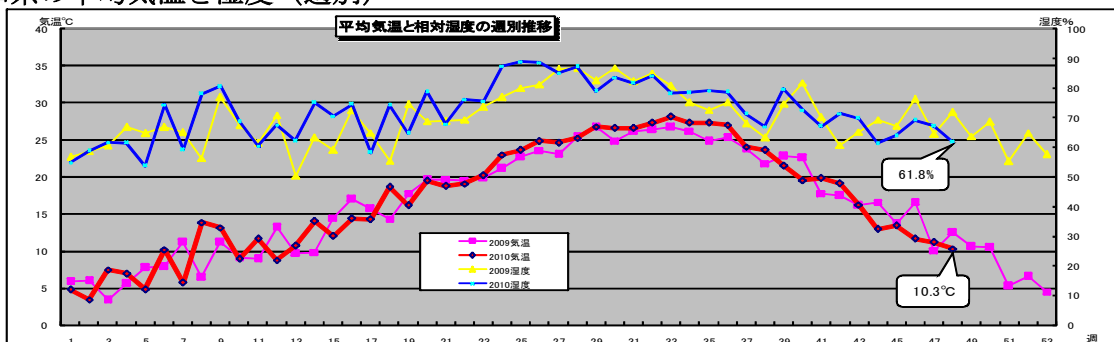
○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
47	A群溶連菌咽頭炎	3歳 女	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i>
44	咽頭結膜熱	1歳 女	高幡	<i>Adenovirus 2</i>
46	咽頭結膜熱	1歳 女	高幡	<i>Adenovirus 2</i>
46	感染性胃腸炎	1歳 女	高幡	<i>Adenovirus 40/41・Parechovirus-NT</i>
48	感染性胃腸炎	1歳 男	高知市	<i>Norovirus G II</i>
48	感染性胃腸炎	7歳 女	高知市	<i>Norovirus G II</i>
48	感染性胃腸炎	1歳 男	高知市	<i>Norovirus G II</i>
48	感染性胃腸炎	1歳 女	中央東	<i>Norovirus G II</i>
48	感染性胃腸炎	2歳 男	高幡	<i>Norovirus G II</i>
48	感染性胃腸炎	1歳 女	高幡	<i>Norovirus G II</i>
48	感染性胃腸炎	3歳 女	高幡	<i>Norovirus G II</i>

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 1例（73歳女）《中央東》（今年143例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



## ○ 定点からの地域ホット情報

### 幡多：

《さたけ小児科》：ヘルペス性歯肉口内炎 1例（11歳女）

《松谷内科》：感染性胃腸炎流行中 嘔気症状が目立つ

### 高幡：

《もりはた小児科》：感染性胃腸炎が増加中

### 中央西：

《石黒小児科》：ヘルペス性歯肉口内炎 1例（8歳女）

《くぼたこどもクリニック》：流行性耳下腺炎 1例（7歳男）

感染性胃腸炎 2例（7, 10歳男）

水痘 1例（1歳男）

### 高知市：

《細木病院小児科》：ノロウイルス陽性 1例（1歳女）

《福井小児科・内科・循環器科》：アデノウイルス陽性 1例（7歳男）

アデノウイルス肺炎 1例（8歳女）

《けら小児科・アレルギー科》：アデノウイルス陽性 4例

マイコプラズマ肺炎 4例（3, 4, 6, 32歳女）

百日咳の1例（16歳女）は東浜株160倍、山口株1280倍、DPT×4回

### 中央東：

《吉本小児科皮膚科》：マイコプラズマ 1例（4歳男）

《あけぼの小児クリニック》：アデノウイルス咽頭炎 2例（3, 12歳男）

感染性胃腸炎が急増した

《早明浦病院小児科》：咽頭結膜熱が某保育園で流行

## 全国情報第46週（11/15～11/21）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核360例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症36例（有症者21例、うちHUSなし）、腸チフス1例

4類感染症：A型肝炎2例、つつが虫病19例、デング熱3例、日本紅斑熱1例、マラリア2例、レジオネラ症10例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎2例（B型1例、C型1例）、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群11例（AIDS 3例、無症候7例、その他1例）、ジアルジア症3例、梅毒4例、破傷風2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例、風しん1例、麻しん2例

報告遅れ：エキノコックス症1例、コクシジオイデス症1例、日本紅斑熱4例、レジオネラ症1例、急性脳炎4例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

### ◆感染性胃腸炎

感染症発生動向調査によると、全国約3,000カ所の小児科定点からの感染性胃腸炎の2010年第46週の定点当たり報告数は10.64（報告数32,084）と、前週の報告数（定点当たり報告数7.70）よりも大きく増加し、第42週以降増加が続いている。都道府県別では、大分県（27.86）、山形県（27.67）、新潟県（21.54）、山口県（21.14）、福井県（19.55）、山梨県（18.63）、福岡県（18.40）の順となっている。第46週は北海道、青森県、長崎県、大分県、沖縄県を除く42都府県で前週の報告数よりも増加がみられており、特に福井県、群馬県、山梨県、埼玉県、香川県、神奈川県、山形県等で大きな増加がみられた。殆どの学校や幼稚園の夏季休暇が終了した直後の第36週から第46週までの定点当たり累積報告数は50.31（累積報告数152,281）であり、年齢群別では0～1歳25.4%、2～3歳22.0%、4～5歳17.6%、6～7歳10.4%の順であり、5歳以下で全報告数の60%前後を、7歳以下で70%以上を占めているのは例年と同様である。

感染性胃腸炎は、その報告数が11月に入ると急増し、12月中（第49～52週）にピークを迎えるという流行をほぼ殆どの年で繰り返してきた。2010年は第39週以降、過去10年間の同時期の報告数としては2006年に次ぐ高い値で推移しており、その高い水準を維持したまま第45週、第46週と大きな増加がみられている。この傾向は今しばらく継続し、流行は更に拡大していく可能性が高いものと予想される。第36週以降に全国の地研から報告されているノロウイルスは、過去2年間と同様に、ほとんどが遺伝子群（Genogroup）IIである。感染性胃腸炎の発生動向とノロウイルスの検出状況には今後とも注意深い観察が必要である。

高知県感染症情報 (58定点医療機関)

第48週 平成22年11月29日(月)～平成22年12月5日(日)

高知県衛生研究所

定点名	医療圏	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(47週)	高知県(48週末累計) H22/1/4～H22/12/5	全国(47週末累計) H22/1/4～H22/11/28	
			中央東	高知市	中央西								
内科・小児科	インフルエンザ			1				1 ( 0.02)	5 ( 0.10)	2,113 ( 0.44)	2,593 ( 54.02)	233,493 ( 48.97)	
小児科	咽頭結膜熱		3	9	1	1	2	16 ( 0.53)	13 ( 0.43)	1,201 ( 0.40)	431 ( 14.37)	34,759 ( 11.48)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	4	28	3	2	14	53 ( 1.77)	35 ( 1.17)	4,695 ( 1.55)	1,040 ( 34.67)	172,008 ( 56.82)	
	感染性胃腸炎	18	72	126	61	19	29	325 ( 10.83)	171 ( 5.70)	38,582 ( 12.72)	8,501 ( 283.37)	1,006,085 ( 332.37)	
	水痘		10	51	5	7		73 ( 2.43)	64 ( 2.13)	5,404 ( 1.78)	1,932 ( 64.40)	199,279 ( 65.83)	
	手足口病		2	1				3 ( 0.10)	4 ( 0.13)	835 ( 0.28)	3,235 ( 107.83)	147,929 ( 48.87)	
	伝染性紅斑			1	3			4 ( 0.13)		1,137 ( 0.37)	236 ( 7.87)	41,970 ( 13.87)	
	突発性発疹		5	11	3	1		20 ( 0.67)	6 ( 0.20)	1,612 ( 0.53)	596 ( 19.87)	83,036 ( 27.43)	
	百日咳			1	1			2 ( 0.07)	1 ( 0.03)	69 ( 0.02)	78 ( 2.60)	4,993 ( 1.65)	
	ヘルパンギーナ		1				1	2 ( 0.07)	2 ( 0.07)	151 ( 0.05)	1,035 ( 34.50)	138,567 ( 45.78)	
	流行性耳下腺炎			2	1	3	1	7 ( 0.23)	10 ( 0.33)	3,706 ( 1.22)	266 ( 8.87)	161,310 ( 53.29)	
	RSウイルス感染症		3	7		2		12 ( 0.40)	10 ( 0.33)	2,179 ( 0.72)	834 ( 27.80)	61,290 ( 20.25)	
	眼科	急性出血性結膜炎								0.00	15 ( 0.02)	2 ( 0.67)	558 ( 0.82)
		流行性角結膜炎									423 ( 0.62)	75 ( 25.00)	19,429 ( 28.66)
基幹	細菌性髄膜炎			2				2 ( 0.29)	1 ( 0.14)	11 ( 0.02)	15 ( 2.14)	452 ( 0.98)	
	無菌性髄膜炎									7 ( 0.02)	20 ( 2.86)	760 ( 1.64)	
	マイコプラズマ肺炎			7				7 ( 1.00)	2 ( 0.29)	305 ( 0.66)	97 ( 13.86)	9,018 ( 19.48)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									18 ( 0.04)	23 ( 3.29)	615 ( 1.33)	
計 (小児科定点当たり人数)	20 ( 10.00)	100 ( 14.29)	247 ( 21.61)	78 ( 26.00)	35 ( 17.50)	47 ( 9.40)	527 ( 17.25)						
前週 (小児科定点当たり人数)	11 ( 5.50)	43 ( 6.14)	131 ( 11.59)	49 ( 16.33)	33 ( 16.50)	57 ( 11.20)		324 ( 10.64)	62,463	21,009 ( 660.15)	2,315,551		

注 ( ) は定点当たり人数。

高知県感染症情報 (58定点医療機関) 定点当たり人数

定点当たり

第48週

定点名	医療圏	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(47週)	高知県(48週末累計) H22/1/4～H22/12/5	全国(47週末累計) H22/1/4～H22/11/28	
			中央東	高知市	中央西								
内科・小児科	インフルエンザ			0.06				0.02	0.10	0.44	54.02	48.97	
小児科	咽頭結膜熱		0.43	0.82	0.33	0.50	0.40	0.53	0.43	0.40	14.37	11.48	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.57	2.55	1.00	1.00	2.80	1.77	1.17	1.55	34.67	56.82	
	感染性胃腸炎	9.00	10.29	11.45	20.33	9.50	5.80	10.83	5.70	12.72	283.37	332.37	
	水痘		1.43	4.64	1.67	3.50		2.43	2.13	1.78	64.40	65.83	
	手足口病		0.29	0.09				0.10	0.13	0.28	107.83	48.87	
	伝染性紅斑			0.09	1.00			0.13		0.37	7.87	13.87	
	突発性発疹		0.71	1.00	1.00	0.50		0.67	0.20	0.53	19.87	27.43	
	百日咳			0.09	0.33			0.07	0.03	0.02	2.60	1.65	
	ヘルパンギーナ		0.14				0.20	0.07	0.07	0.05	34.50	45.78	
	流行性耳下腺炎			0.18	0.33	1.50	0.20	0.23	0.33	1.22	8.87	53.29	
	RSウイルス感染症		0.43	0.64		1.00		0.40	0.33	0.72	27.80	20.25	
	眼科	急性出血性結膜炎									0.02	0.67	0.82
		流行性角結膜炎									0.62	25.00	28.66
基幹	細菌性髄膜炎			0.40				0.29	0.14	0.02	2.14	0.98	
	無菌性髄膜炎									0.02	2.86	1.64	
	マイコプラズマ肺炎			1.40				1.00	0.29	0.66	13.86	19.48	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.04	3.29	1.33	
計 (小児科定点当たり人数)		10.00	14.29	21.61	26.00	17.50	9.40	17.25					
前週 (小児科定点当たり人数)		5.50	6.14	11.59	16.33	16.50	11.20		10.64		660.15		

## 2010年週報推移(定点当たり)

